



2026 年 6 月 29 日

日台友好の絆、熊本に響く 玉山銀行が「希望の音色」コンサートを開催

玉山銀行は今年も音楽を架け橋とした「希望の音色」コンサートを 6 月 27 日に熊本にて開催いたしました。本イベントは熊本県熊本市、台北駐福岡経済文化弁事処、熊本県商工会議所連合会、熊本県商工会連合会、熊本経済同友会、熊本大学の後援のもとで開催され、当日は 1,650 名を超える日本からの来賓および在留台湾人が参加し、国境を越えた美しい旋律を通じて台日友好の絆を深めました。



玉山合唱団によるパフォーマンス

熊本県の木村敬知事は、「熊本と台湾の間には長年にわたる温かく深い友情があります。10 年前の熊本地震の際、台湾の皆様から寄せられた暖かいご支援は、今も県民の心に深く刻まれています。」と言葉をいただきました。また木村知事は、台湾企業の進出投資や航空便の増加に伴い、両地域の交流はますます緊密になっていることに触れ、観光、商業、教育、文化の各分野における協力も拡大が続けていると言及。「玉山銀行が開催するコンサートは、こうした交流をさらに深める素晴らしい機会であり、若い世代同士のつながりと交流を通じて、音楽で心を通わせ、未来へ向けた新たな芽となることを期待しています。」と語りました。

今回のコンサートでは、玉山フィナンシャルホールディングの創設者である黄永仁氏と、代表取締役会長の黄男州氏が自ら、老・中・若の三世代にわたる行員および合唱団員を率いて熊本を訪れました。また日本側からは、安倍晋三元総理大臣夫人の安倍昭恵氏、坂本哲志衆議院議員氏をはじめ、地方自治体の首長や経済界のリーダーらが多数出席し、日本各界が台日友好および文化交流をいかに重視しているかがうかがえました。黄男州代表取締役会長は、「日本と台湾は、自由、平和、民主主義という共通の価値観を持ち、長年にわたり互いに支え合うパートナーです。」と挨拶。コンサートのテーマ「希望の音色」について、台日両国の強みが織り合わさることを象徴し

ており、異なる楽器が調和し、希望に満ちた楽章を奏でる様子に重ね合わせていると説明しました。

演奏曲目は多文化的な特色に富み、出演団体はそれぞれ相手国を代表する楽曲を選曲しました。玉山合唱団は「高山青」や宮崎駿アニメ組曲を披露したほか、日本の来賓に馴染み深い「千の風になって」、「花は咲く」、「ふるさと」も特別に歌い上げました。演奏中、会場の来賓は馴染みのある美しい旋律に深く心を動かされ、故郷や生命の尊さへの思いを馳せていました。また、熊本市立日吉中学校音楽部は「望春風」と「山のあなた」を、熊本北高等学校吹奏楽部は「四季紅」と熊本民謡「おてもやん」を演奏。双方は音楽を通じて互いの文化への理解と尊重を示し、深い友情を通わせました。

玉山銀行は日本における事業展開をさらに強化しており、現在は東京、福岡、熊本に拠点を構えるほか、大阪出張所も今年9月に開設予定です。今後も企業間の往来、観光、産学交流、金融協力において、より専門的かつ便利なサービスを提供してまいります。今回の音楽の祭典は、台日交流を一層深めるとともに、両地域が手を携えて希望に満ちた未来へ歩んでいくことを象徴するものとなりました。



熊本市知事 木村敬氏



左から台北駐福岡経済文化弁事処処長陳銘俊氏、玉山フィナンシャルホールディング創設者黄永仁、安倍昭恵氏駐日台北経済文化代表処副代表周學佑氏、玉山フィナンシャルホールディング代表取締役会長黄男州